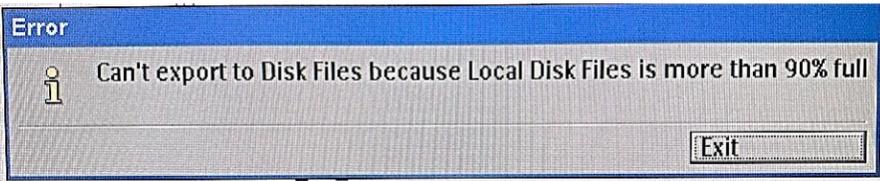


MRIデータ転送エラー対応

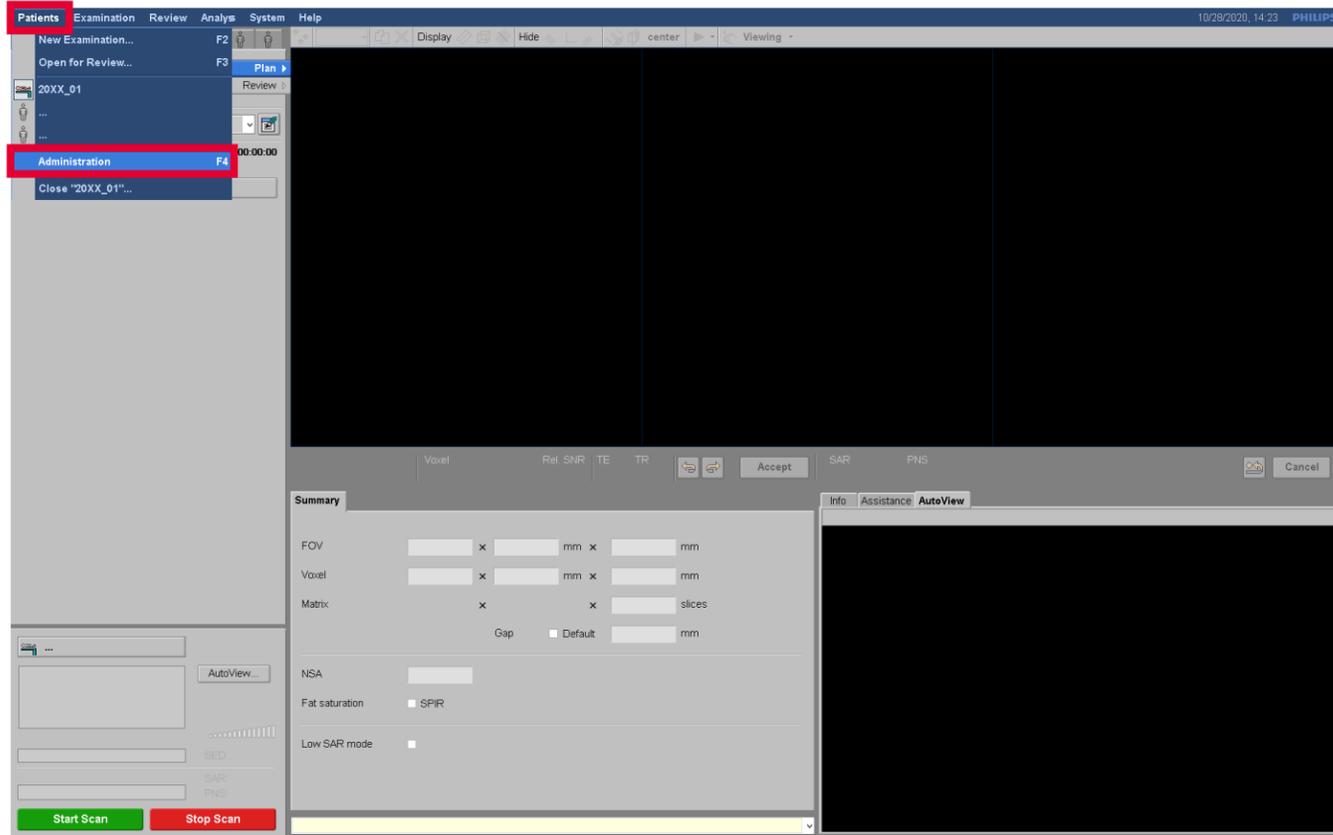
全般	まず試してみる事 ⇒ 転送に負荷をかけるデータ類を減らす	ページ
	local patient databaseのファイルを減らす	2
	Job Queueの削除	3
	FTP(E:)ドライブの[Dicom][Export]フォルダ内のファイルを減らす	4
	【TIPS】 local patient databaseが100%と表示されるとき ※撮像しないでください	5
アプリの終了 (Exit) 、ホストコンピューターの再起動	6	

転送先	現象	有効な対応手段	ページ
外付けHDD	エラーメッセージ (送り先のHDDに十分な空き容量があるのに)	FTP(E:)ドライブの[Dicom][Export]フォルダ内のファイルを減らす	2
		local patient databaseのファイルを減らす	3
	転送に時間がかかりすぎる	ホストコンピューターに直接接続のHDDを使う	7
	転送がfailedになる	直送せずThis PCを介してHDDに保存	8
		HDDをフォーマットする ※要データ保存	9
ORTHANCサーバー	Job Queueで「Failed」と出る	BI棟 (操作室、機械室) でできる確認と対応	10-11
		└ ネットワーク確認 (pingの送信→LANケーブルの確認)	
		SA棟 (B階サーバー室、サーバー管理者) でできる確認と対応	12-14
		└ ネットワーク確認、ORTHANCサーバーPCの再起動	

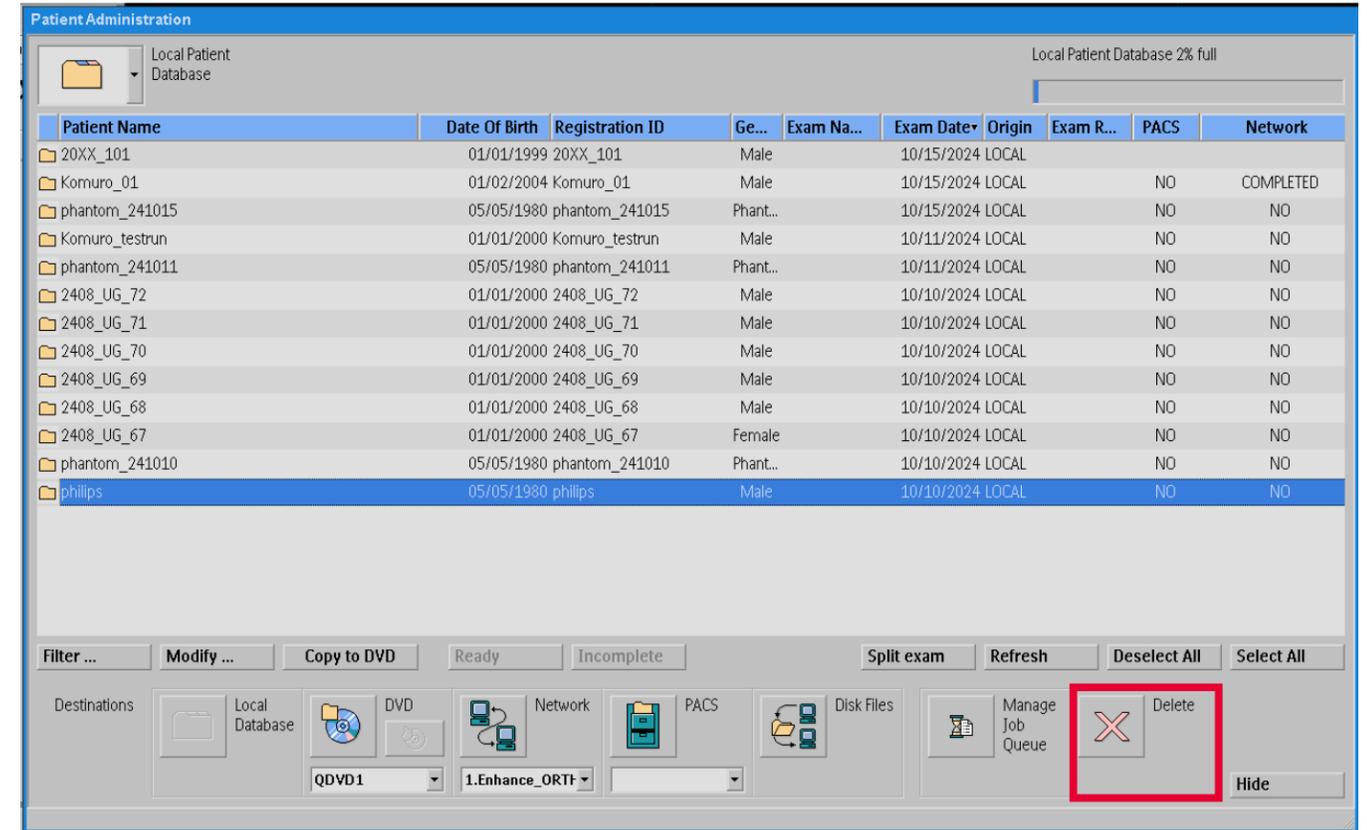
それでも転送ができないとき…

現象	対応
local patient databaseが100%から減らない	local patient databaseの再構築が有効。Philips担当者へ連絡。 ※local patient databaseのデータがすべて消えるので、バックアップができてから

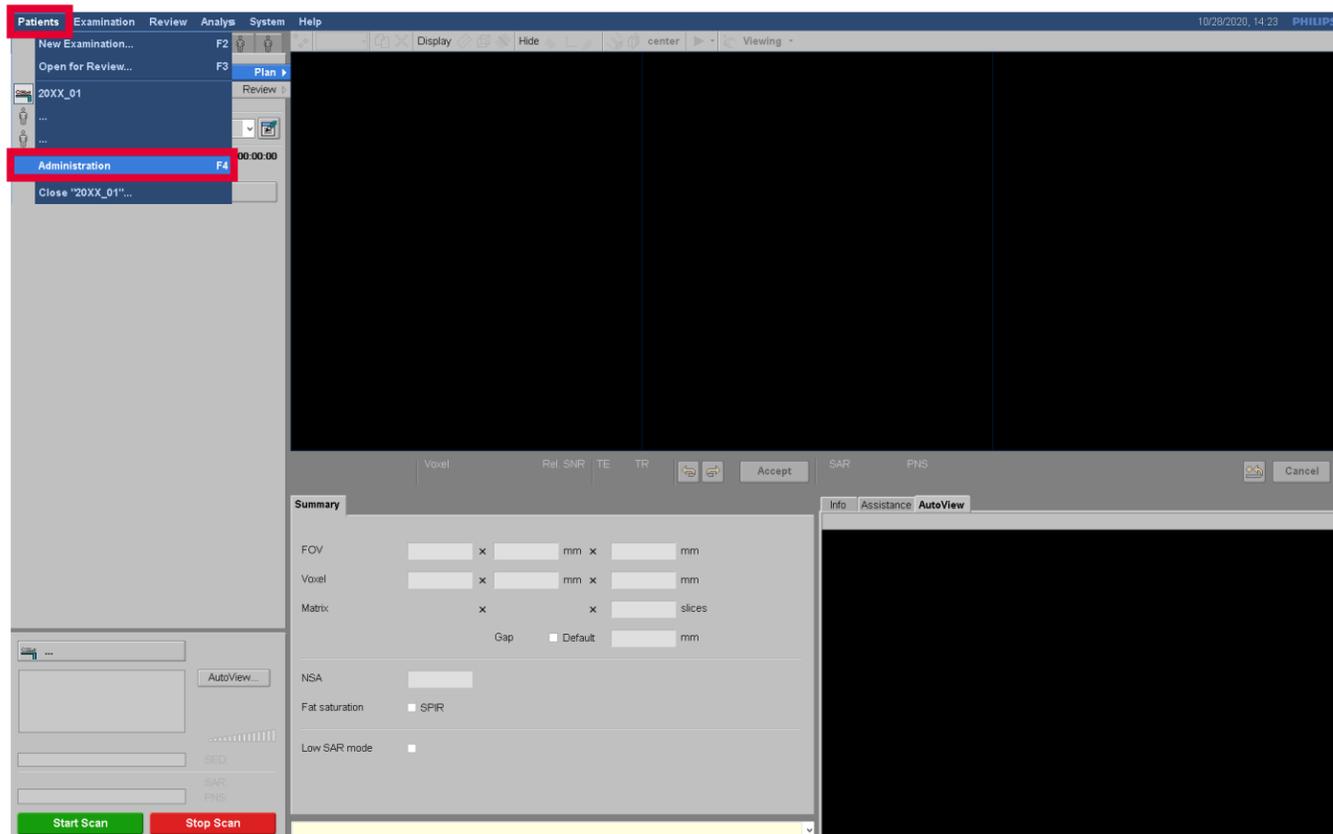
01 Patients から Administration F4



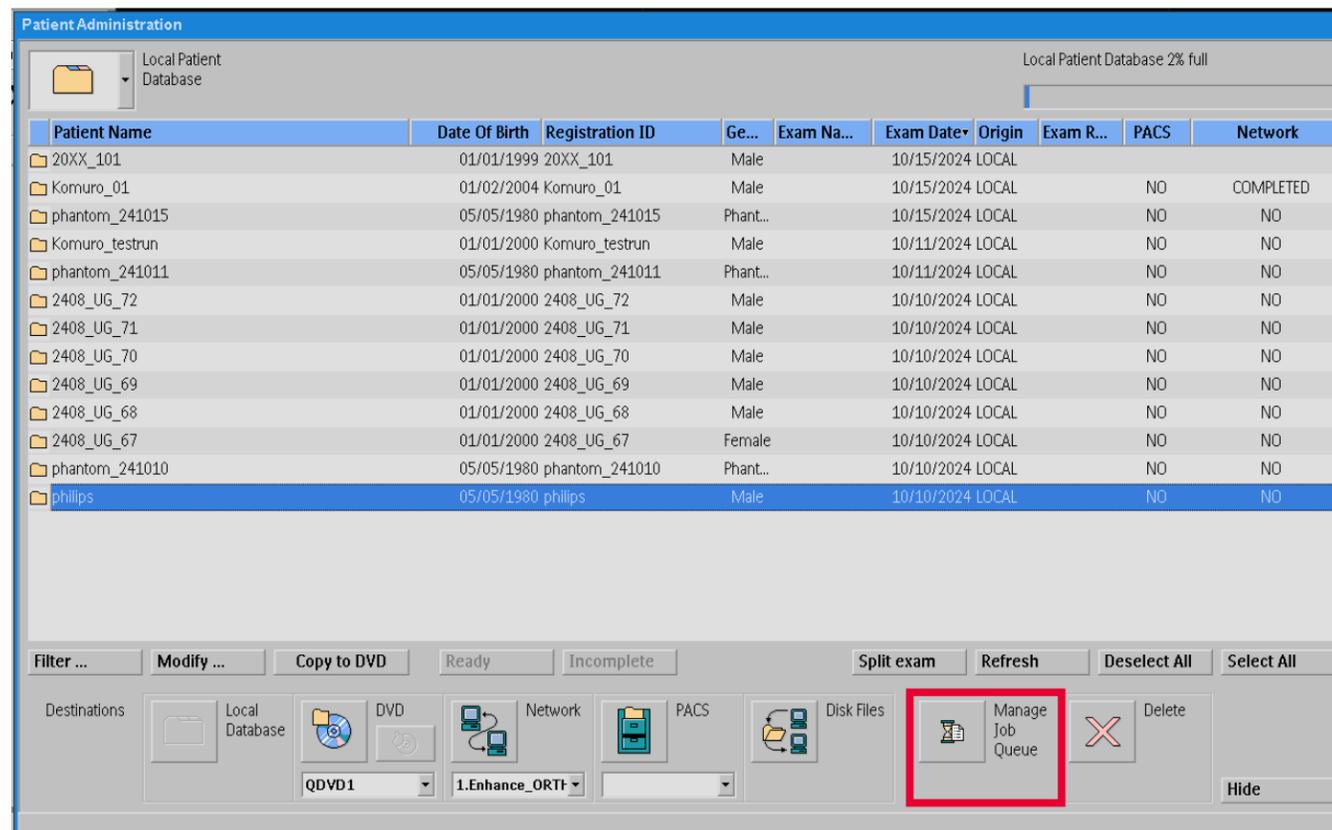
02 データ（転送が完了しているもの）を選択し、Delete 



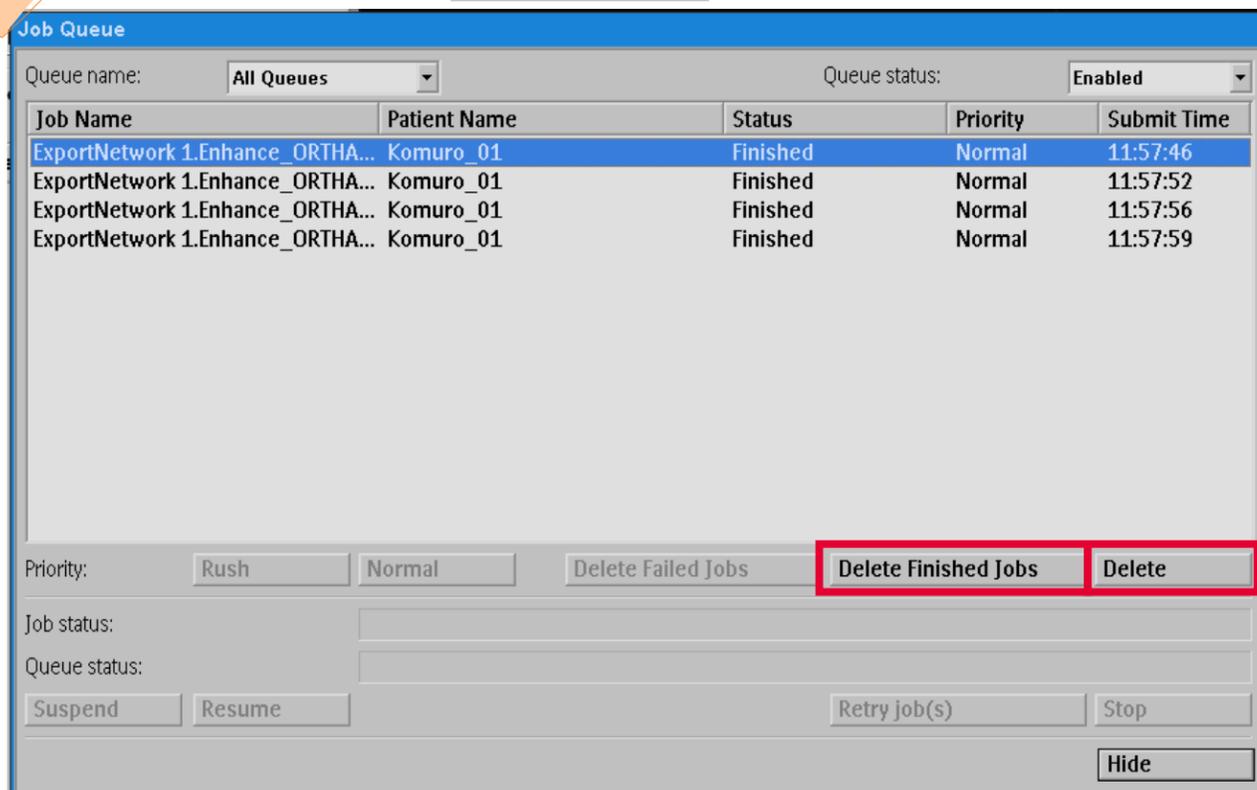
01 Patients から Administration F4



02 Manage Job Queueをクリック



03 データを選択し、Delete または Delete Finished Jobs



Delete

選択しているJobを削除

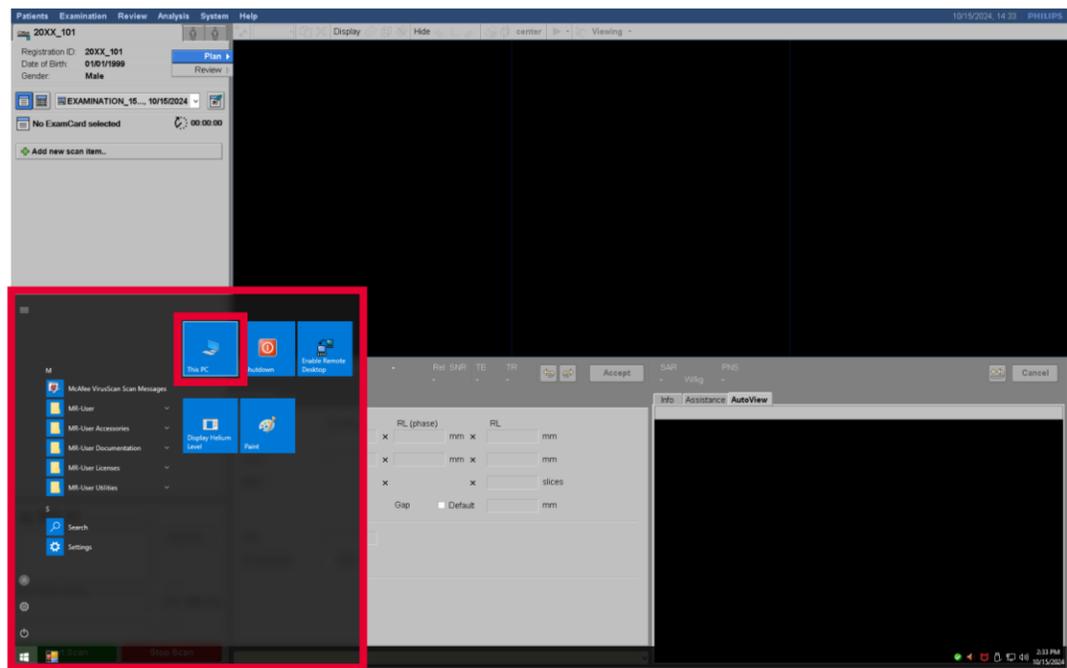
Delete Finished Jobs

Finished (= 転送完了) になっているJobをすべて削除

01 キーボード  からWindowsメニューを出す



02 Windowsメニューから  This PC

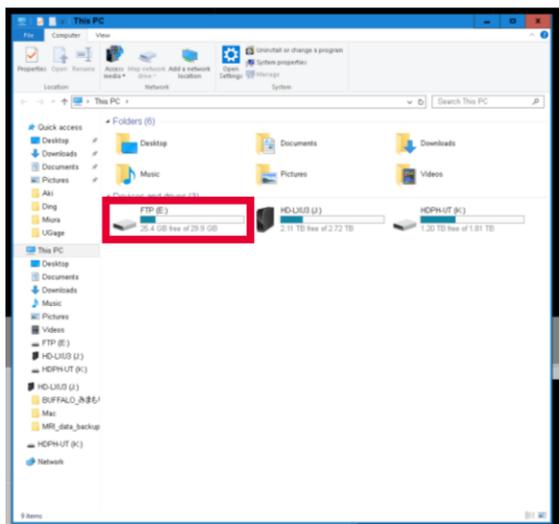


03 Devices and drivesから

FTP (E:)



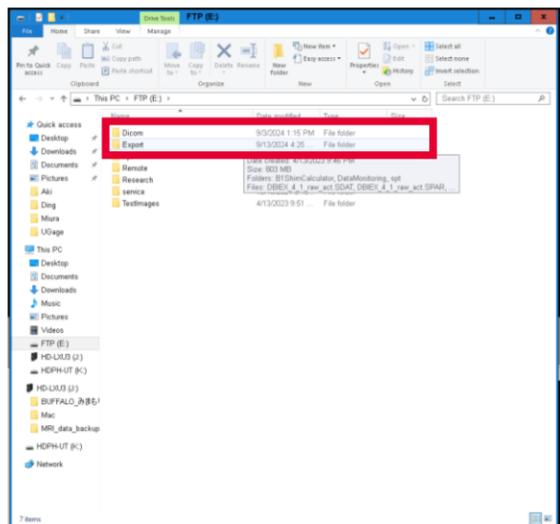
25.4 GB free of 29.9 GB



04

 Dicom
 Export

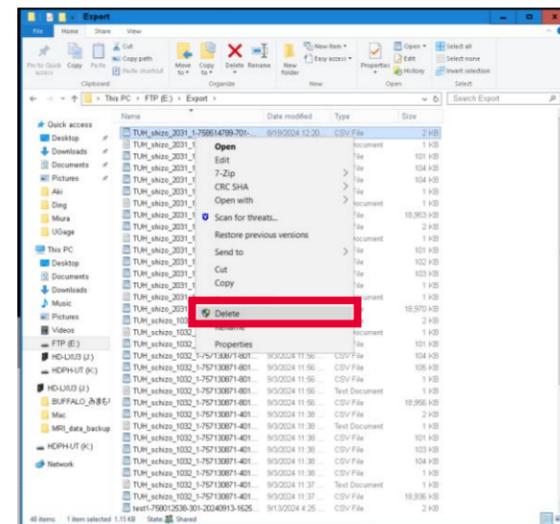
この2つのフォルダ内のファイルを減らす



05

削除するファイルを右クリック →  Delete

※既に転送が完了している等問題なさそうなものから



ログや診断情報（システムの動作状況やエラーメッセージ、設定の変更履歴などの記録）が自動で保存されるようです。

- 01 実際には20%-30%しか使用していなくても、Local Patient Databaseが“100%”と赤く表示される現象が確認されています。

Date Of Birth	Registration ID	Ge...	Exam Na...	Exam Date	Origin	Exam R...	PACS	Network
01/01/2000	AkiEmo_sub42	Female		12/03/2024	LOCAL		NO	NO
01/01/2001	20241203_phantom	Phant...		12/03/2024	LOCAL		NO	NO
01/01/2000	YC_FEL_sub10	Male		12/02/2024	LOCAL		NO	PARTLY_ACCEPTE
01/01/2000	YC_FEL_sub09	Male		12/02/2024	LOCAL		NO	PARTLY_ACCEPTE
01/01/2000	YC_FEL_sub08	Male		12/02/2024	LOCAL		NO	PARTLY_ACCEPTE
01/01/2000	YC_FEL_sub07	Female		12/02/2024	LOCAL		NO	PARTLY_ACCEPTE
01/01/2000	YC_FEL_sub06	Female		12/02/2024	LOCAL		NO	PARTLY_ACCEPTE
01/01/2000	2412_DE_039_MB	Male		12/02/2024	LOCAL		NO	PARTLY_ACCEPTE
01/01/2000	2412_DE_038_BC	Female		12/02/2024	LOCAL		NO	PARTLY_ACCEPTE
01/01/2000	2412_DE_037_MC	Male		12/02/2024	LOCAL		NO	PARTLY_ACCEPTE
01/01/2001	Visc_sub04	Male		11/30/2024	LOCAL		NO	PARTLY_ACCEPTE
01/01/2001	Visc_sub03	Male		11/30/2024	LOCAL		NO	PARTLY_ACCEPTE
01/01/2001	Visc_sub02	Male		11/30/2024	LOCAL		NO	PARTLY_ACCEPTE
01/01/2001	Visc_sub01	Female		11/30/2024	LOCAL		NO	PARTLY_ACCEPTE
01/02/2004	Komuro_09	Female		11/29/2024	LOCAL		NO	NO
01/01/2000	check	Male		11/29/2024	LOCAL		NO	NO
01/01/2000	Taniyama_12	Male		11/29/2024	LOCAL		NO	PARTLY_ACCEPTE
01/01/2000	Taniyama_11	Male		11/29/2024	LOCAL		NO	PARTLY_ACCEPTE



この状態では、撮像しないでください。

撮像できているように見えてもコンソールに保存されない可能性があります。

一部の古いデータを消して、100%表示が改善されてから、撮像開始してください。



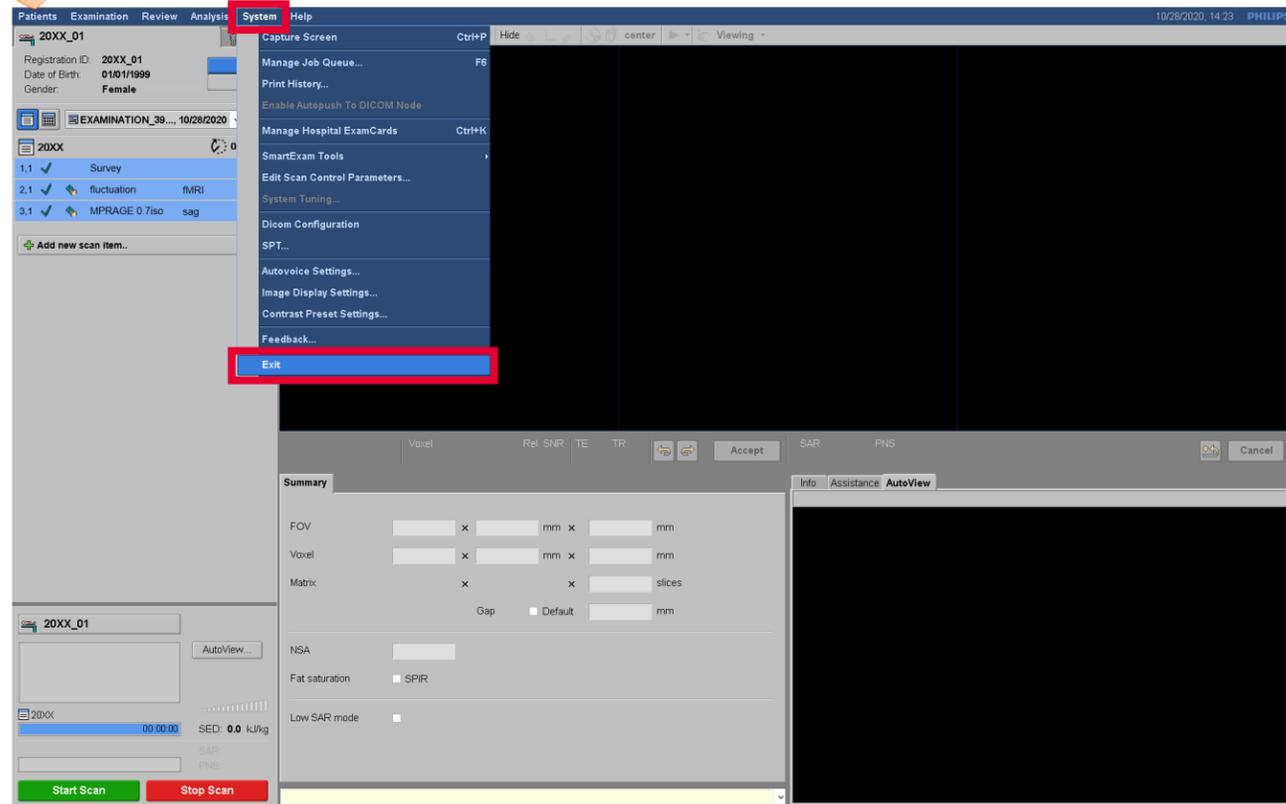
TIPS

2,3ファイルを削除すると、20%-30%程度に戻る、という現象も確認されています。
※必ず戻るわけではありません。

このため、ファントムやテストランのデータはあえて消さずに残しておく、100%表示現象の際に消すファイルとして役立ちます。

※その日の自分の実験終了の際には、不要なデータは消してください。

01 System から Exit (アプリケーションの終了)

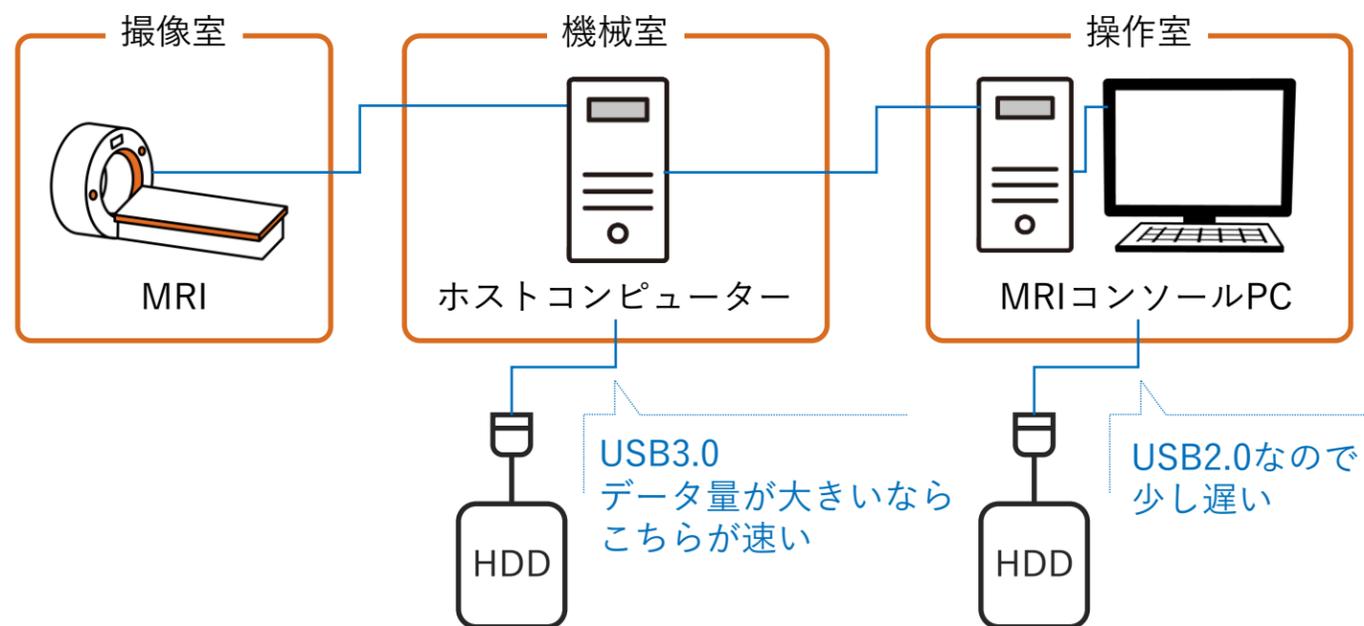


02 ログイン画面から Restart (ホストコンピューターの再起動)

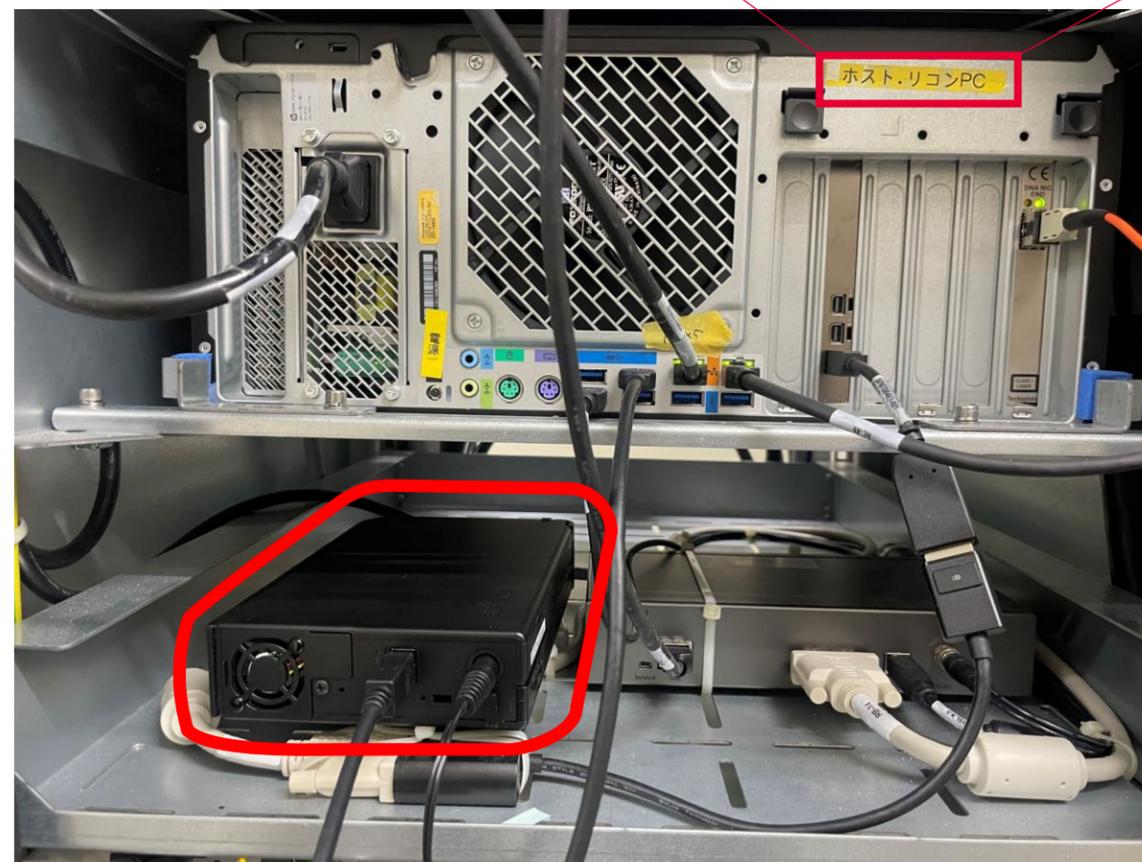
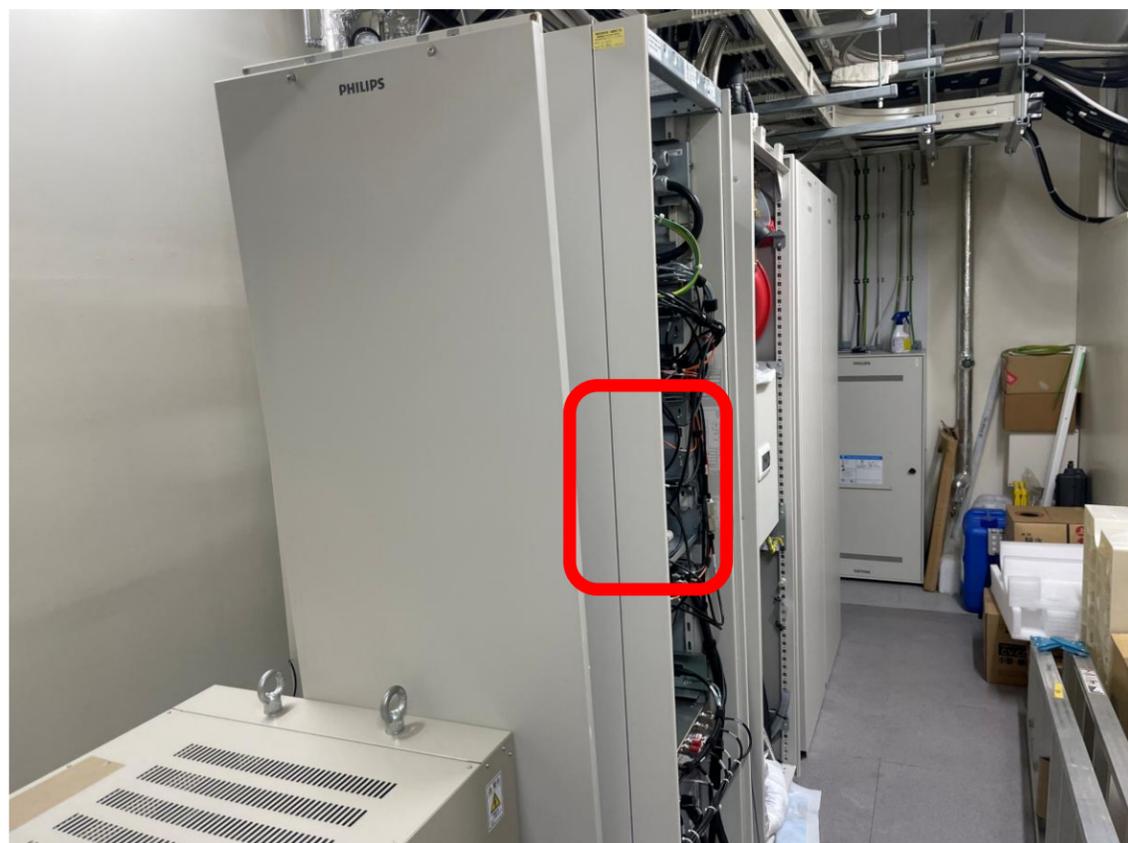
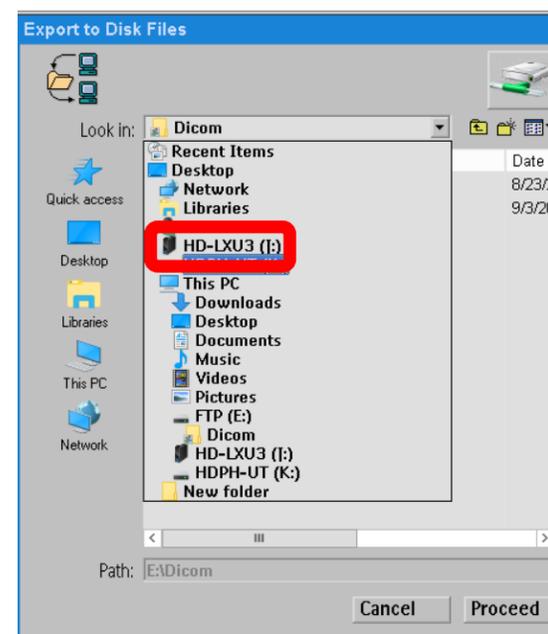


- ・ アプリ起動中に、Windowsメニューからの再起動は極力行わない
- ・ 夜間3:00にPhilips社から保守点検のためのモニタリングが入るので、夜間Shutdownはしない

データ量が大きく転送に時間がかかりすぎてしまいエラーが出ることもあるので、機械室のホストコンピューターに直接接続しているHDDに転送してみる

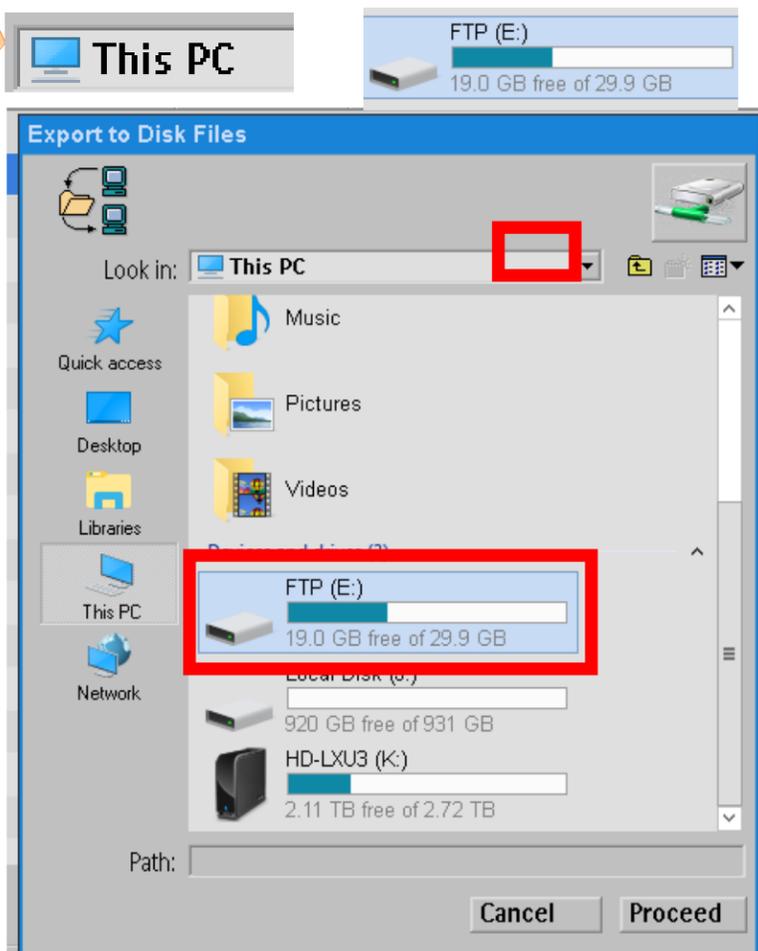


HD-LXU3 (I:) を選択

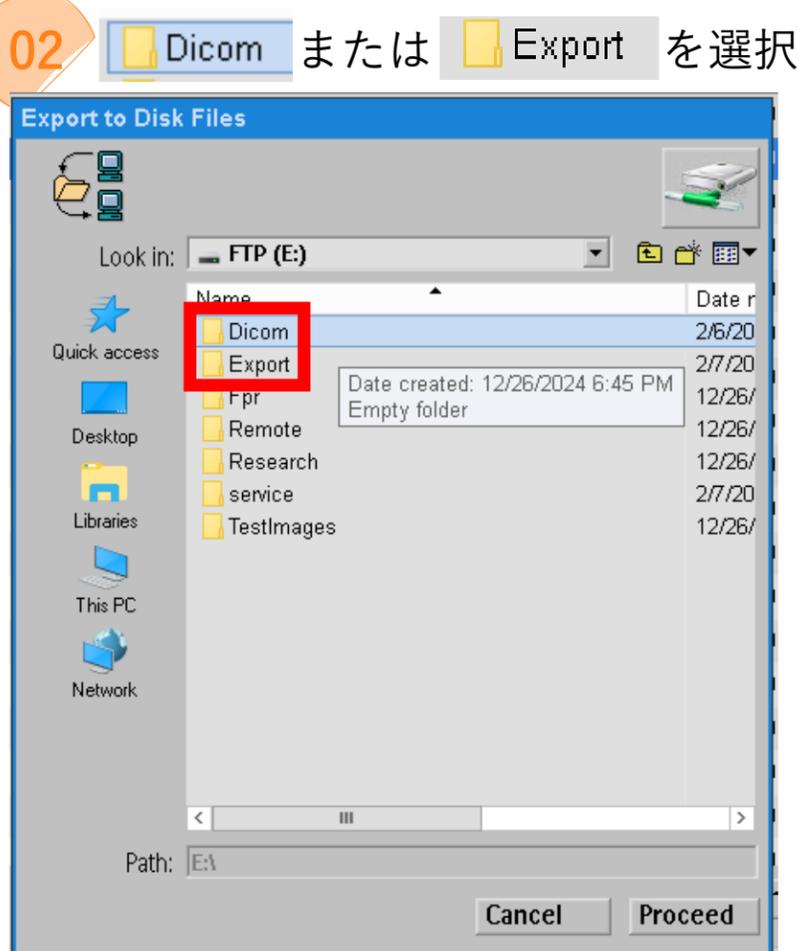


操作PCで、安全な取り外し操作をしてから持ち出してください。

01



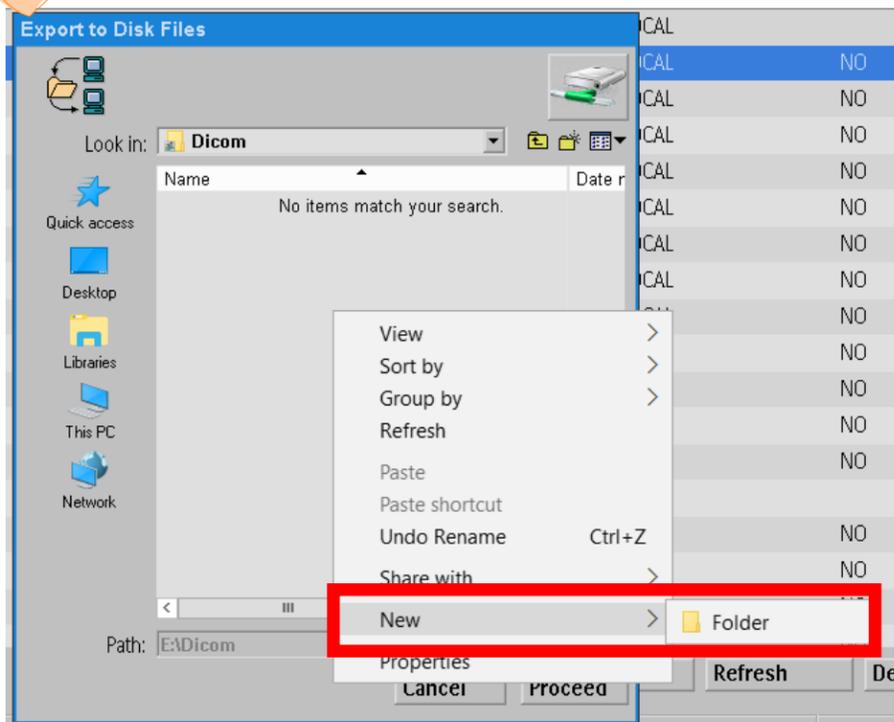
02



! This PCはデータ容量が
大きくないため、
HDDにコピーが完了したら
すぐにデータを消してください

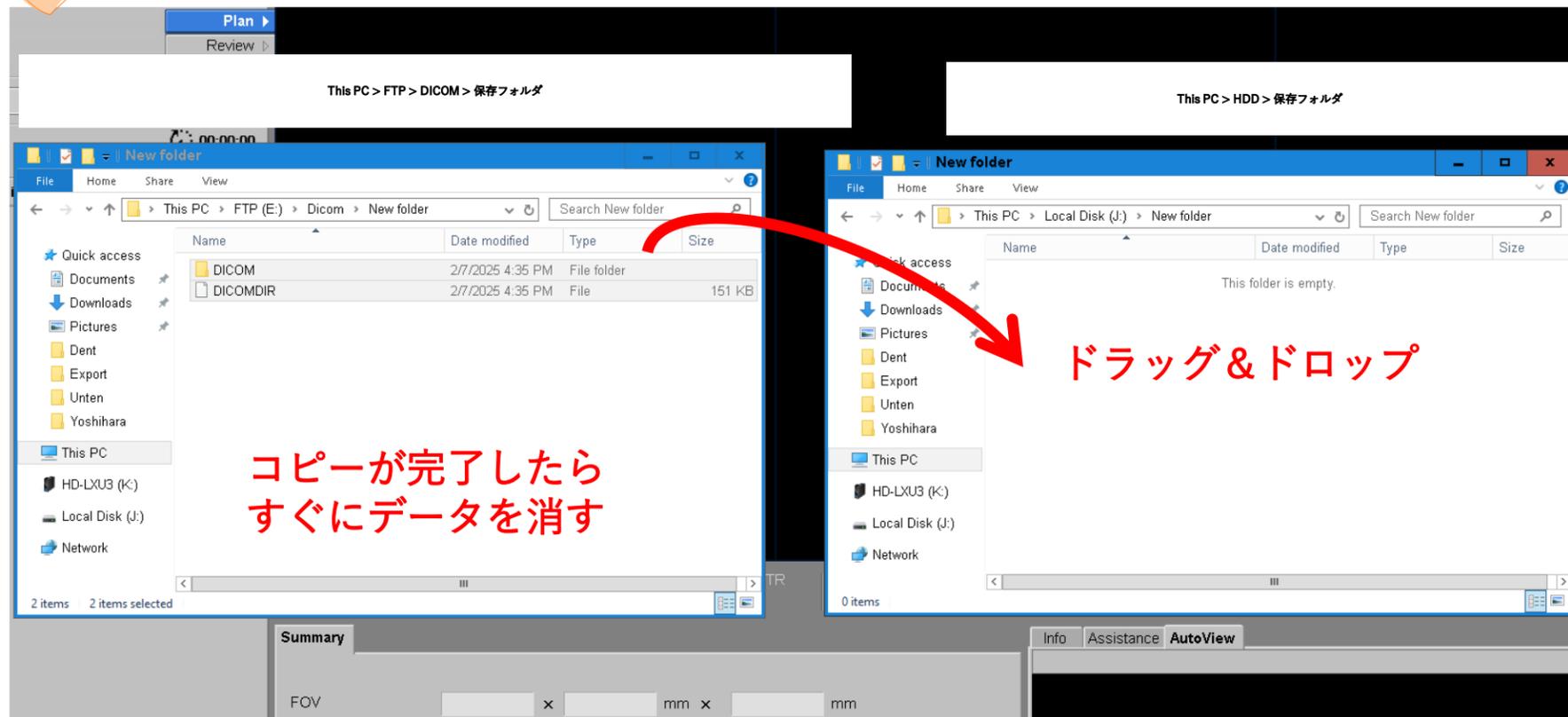
03

保存用ファイルを作成する



04

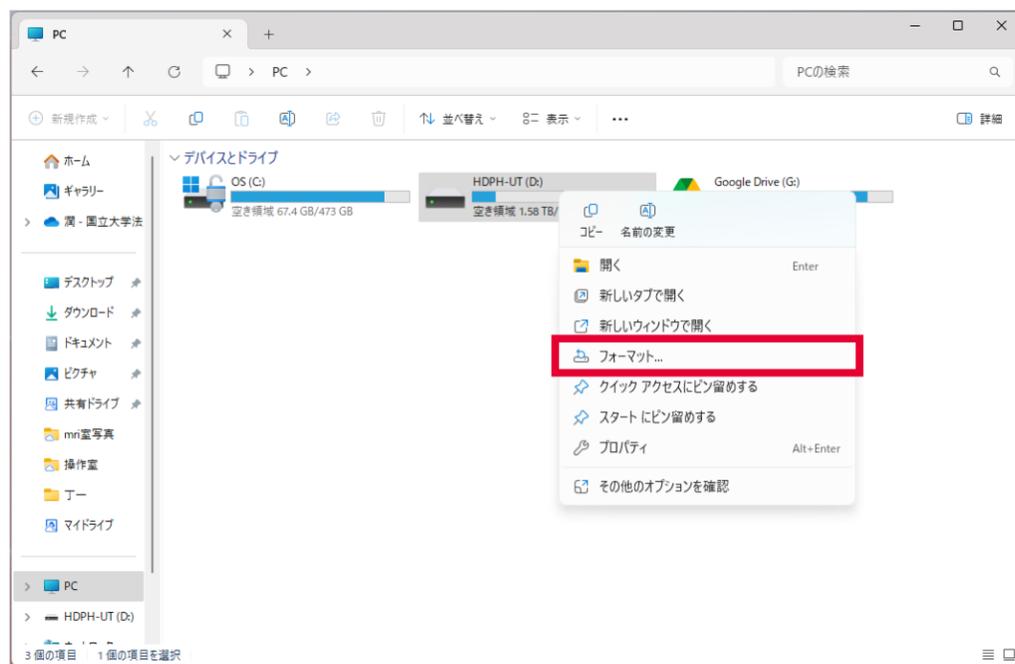
エクスプローラーで、保存用ファイルとHDDを開き、ドラッグ&ドロップ



01 フォーマット：HDDを初期化して、データを保存できるように準備すること
作業前に、必ずHDDの中身を別の場所に保存してください

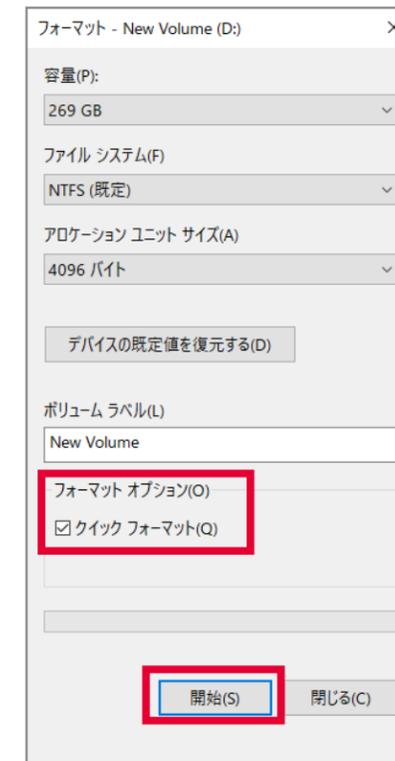
時間がかかる場合が多いので、MRI室のPCではない場所で行ってください。

02 HDDの右クリックメニューから **フォーマット...** を選択



03 フォーマットオプションから **クイック フォーマット(Q)** のチェックを外す

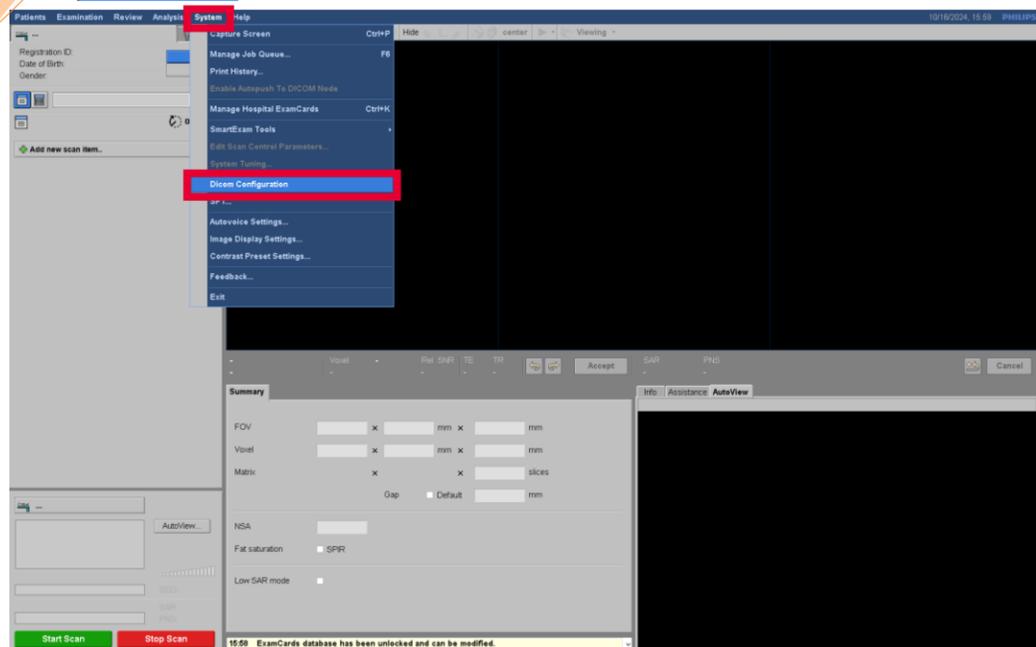
04 **開始(S)**



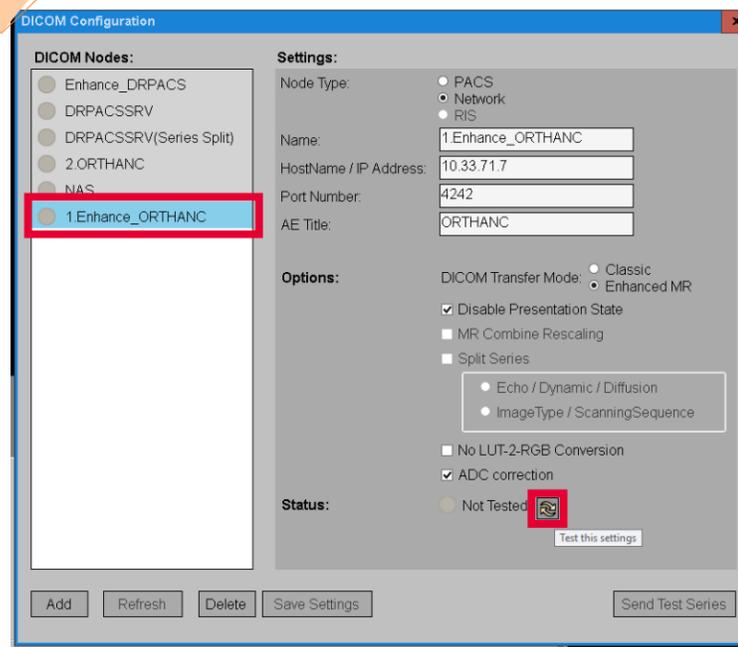
この作業は、数時間～1.5日程度かかる場合があります。

MRIコンソールPCから、ORTHANCとNASの両方にpingを送ってみる

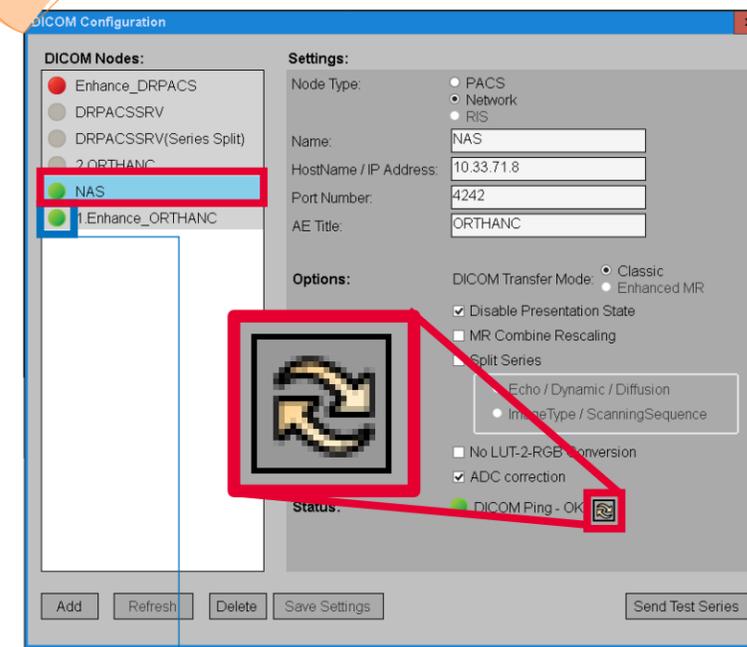
01 System から Dicom Configuration



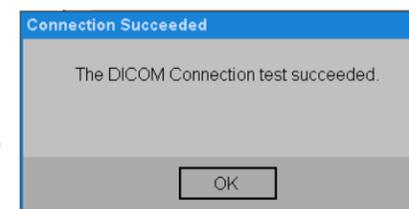
02 1.Enhance_ORTHANC を選択し



03 NAS も選択し



30秒ほどで
結果が出る
(成功画面→)



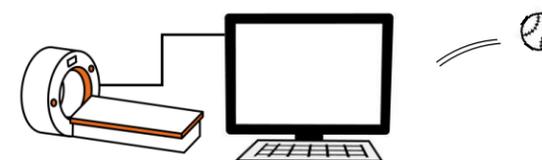
● 成功
● 失敗

送信結果		わかること	対応	ページ
ORTHANC	NAS			
●	●	ネットワークに問題なし	ORTHANCサーバーの再起動を試みる	
●	●	ORTHANCサーバーのみ、ネットワーク上にない	SA棟でできる確認と対応へ	
●	●	MRIコンソールPCがネットワーク上にない	BI棟のLANケーブルを確認する	
		ORTHANCサーバーとNASが両方、ネットワーク上にない	SA棟でできる確認と対応へ	



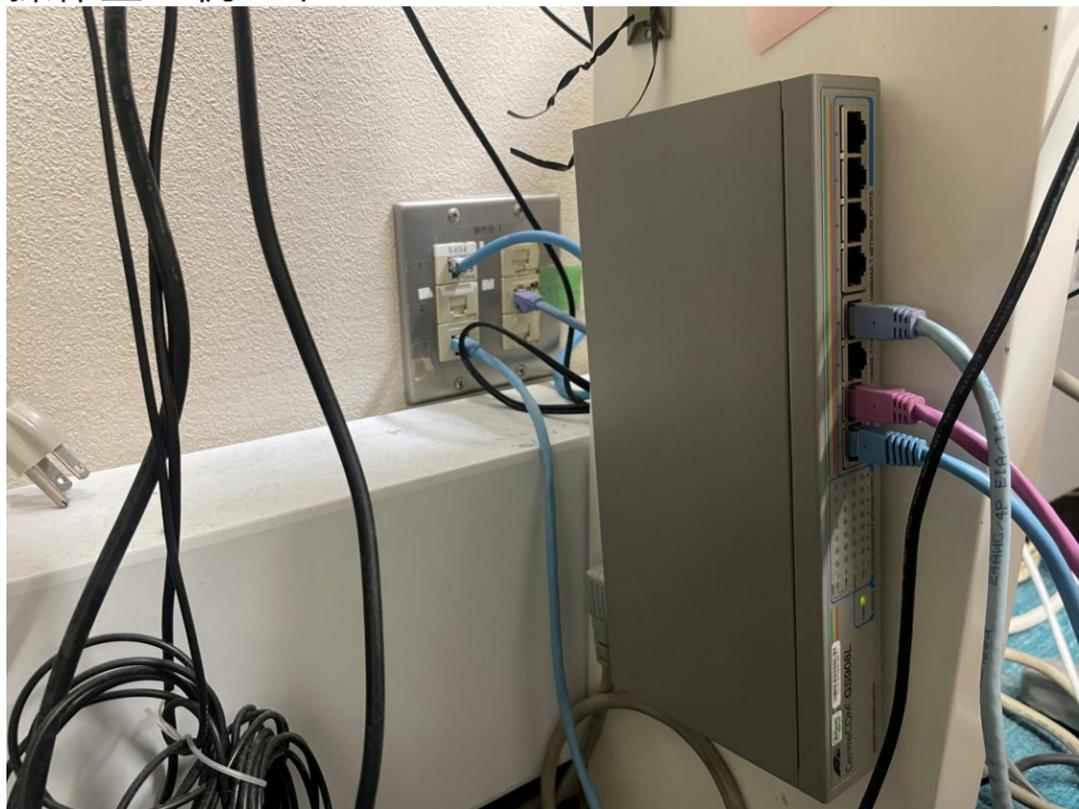
pingとは…

ネットワーク上の他のコンピュータやデバイスが応答するかどうかを確認するための方法です。具体的には、あなたのコンピュータから他のコンピュータに小さなデータパケットを送信します。そのコンピュータがそのデータを受け取り、返答を送ります。



LANケーブルに抜けやゆるみがないか確認する

操作室 机の下



MRI室で、他に確認すべきところはどこでしょう…？

ご存知の方がいれば、教えてください。

八角

01 自分のPCでコマンドプロンプトを起動



02 ORHTANCサーバーへpingを送る



ping 130.34.162.7 ORHTANCサーバーのIPアドレス

▲成功の場合はこんな感じ

と入力、エンターキーで実行
※pingとIPアドレスの間にスペースは必要

失敗すると、「要求がタイムアウトしました」や「転送に失敗しました」のエラーメッセージが出ます。

03 NASへpingを送る

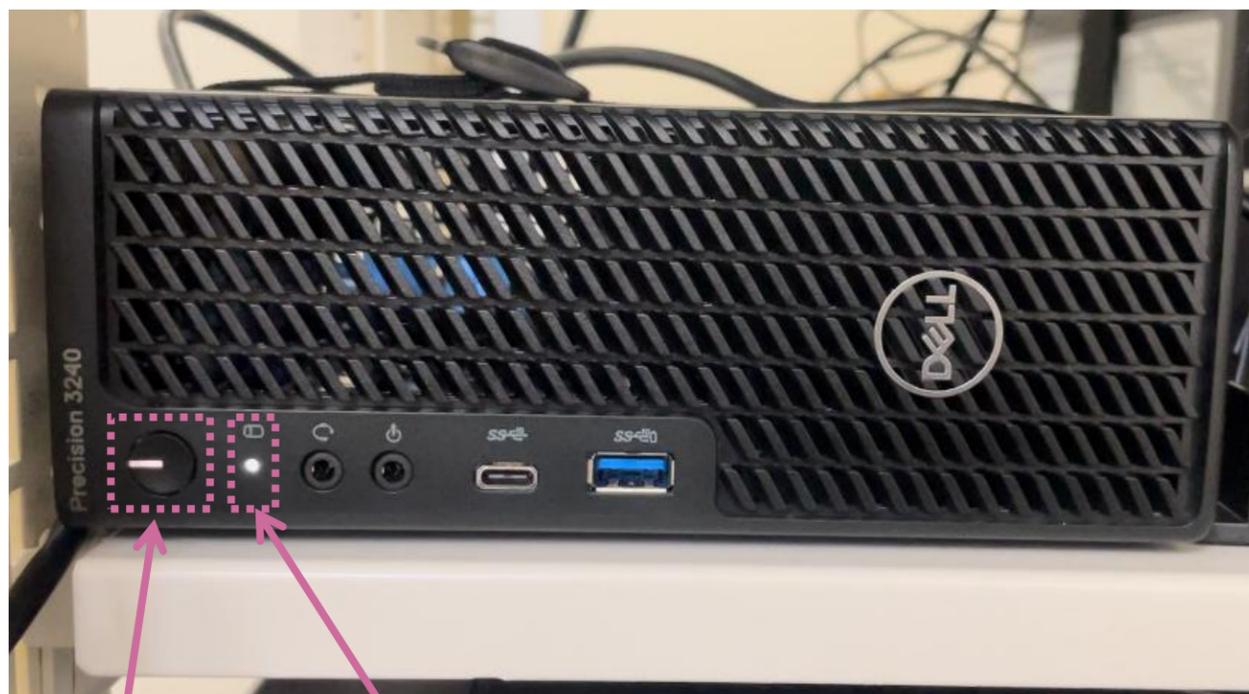
ping 130.34.162.8 NASのIPアドレス

と入力、エンターキーで実行
※pingとIPアドレスの間にスペースは必要

送信結果		わかること	対応	ページ
ORTHANC	NAS			
成功	成功	ネットワークに問題なし	ORTHANCサーバーの再起動を試みる	11
失敗	成功	ORTHANCサーバーのみ、ネットワーク上にない	ORHTANCサーバーの状態確認へ	10
失敗	失敗	ORTHANCサーバーとNASが両方、ネットワーク上にない	ORHTANCサーバーの状態確認へ	10

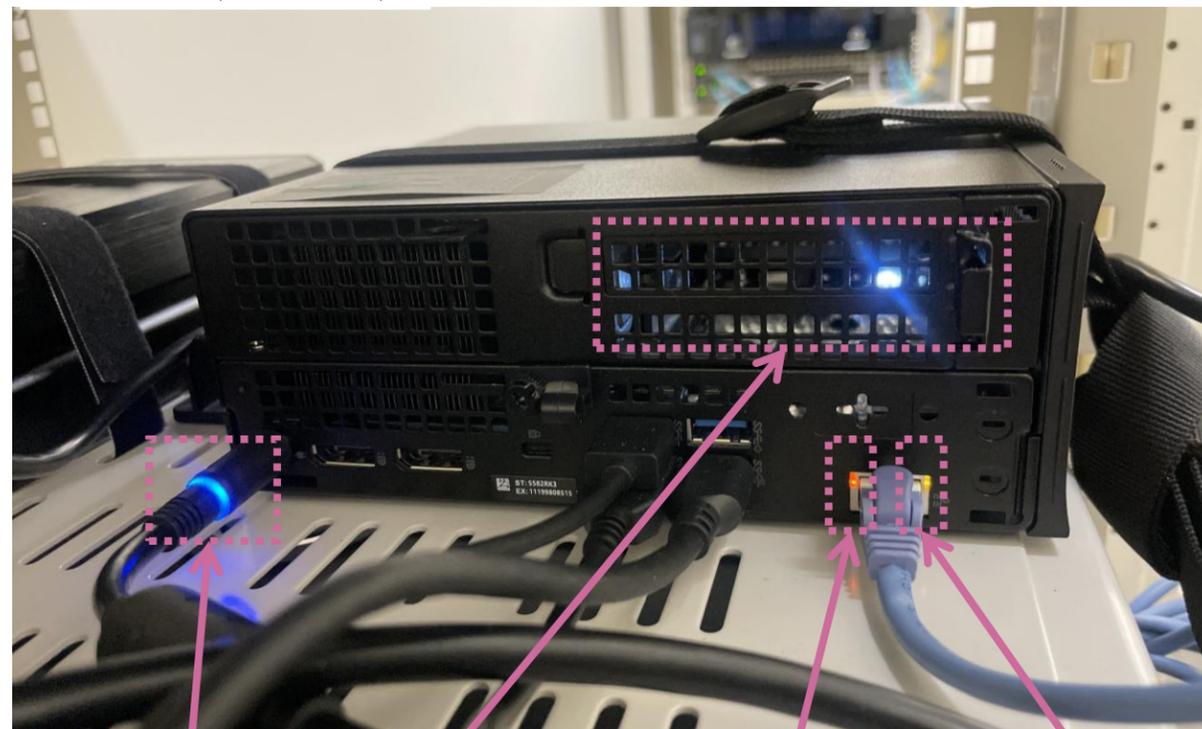
ランプの点灯が正常か、ケーブルにゆるみはないか確認する。

■前面（通常時）



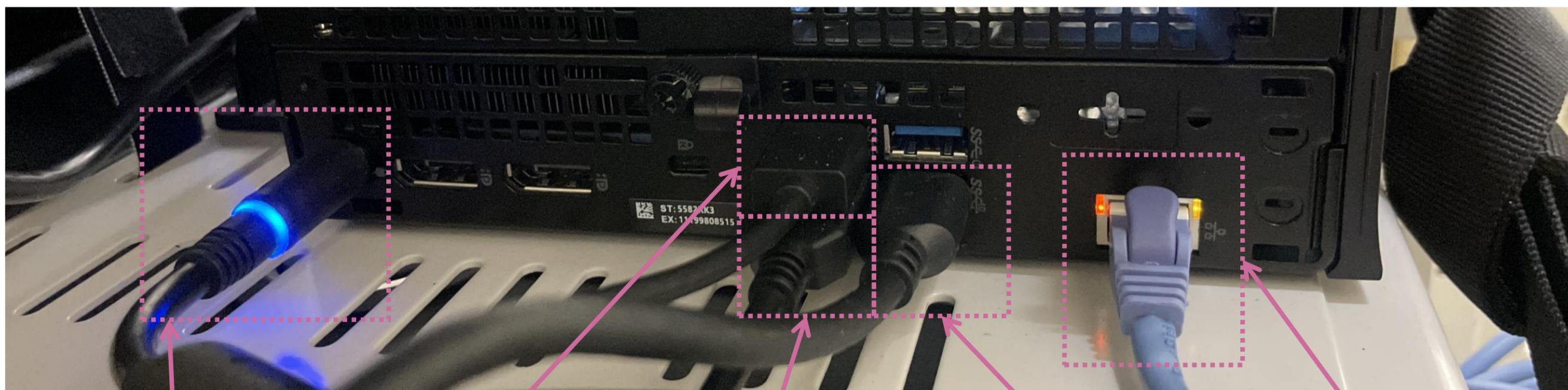
白（常時） 白（点滅）

■背面（通常時）



青（常時） 青白（点滅） 赤（常時） 黄色（点滅）

■背面



電源

外付けドライブ①

電源（USB接続）

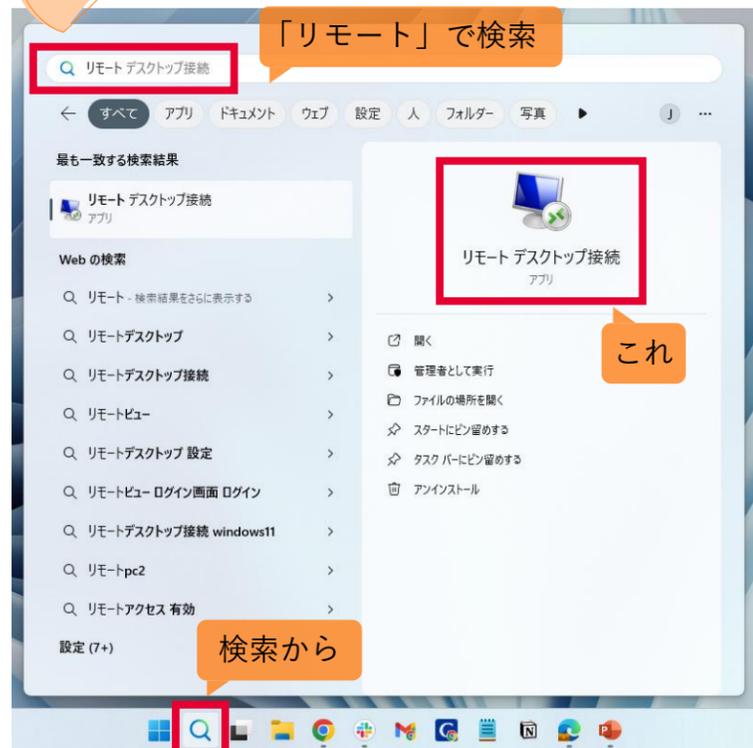
外付けドライブ②

LANケーブル

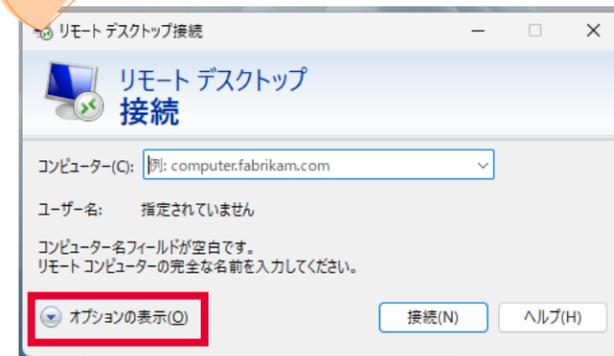


ORHTANCサーバーの管理者パスワードを知っている人のみができる操作です。

01 リモートデスクトップ接続アプリを起動



02 オプションの表示(O) をクリック

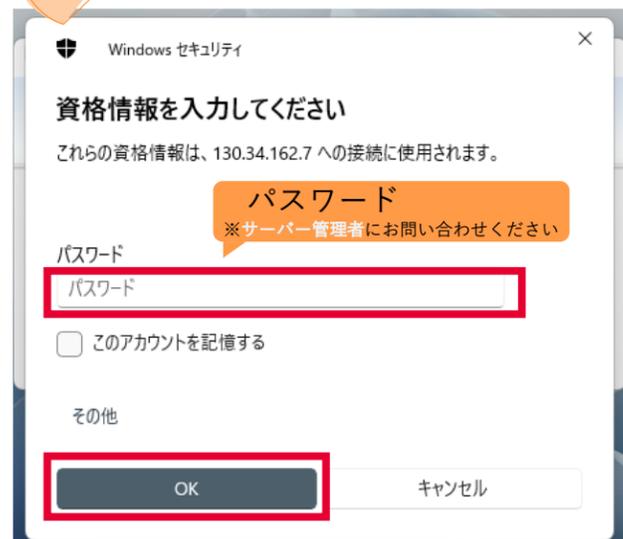


(オプションが表示されていればスキップ)

03 IPアドレス、ユーザー名を入力→ 接続(N)



04 パスワードを入力→ OK



05 警告が出るが、はい(Y) をクリック



06 ORHTANCサーバーのデスクトップに接続できる。(一般的なwindowsのデスクトップと同じ)



左下のスタートアイコンから再起動を実行
 ※ORHTANCサーバーのソフトウェアはPCの起動時に自動で起動するため再起動後は特に何もなくてOK